

## 女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

島崎千江子, 青海邦子, 野坂純子, 足立恵美\*, 酒井健\*\*

### 要 旨

昨今、化粧に対する関心をもつ女性が幅広い年代で増加している。本研究では女子学生の化粧行動と意識の関連についてアンケート調査を行い考察した。また、印象評価は化粧イメージ画像を作成しSD法を用いて印象評定を行い、因子分析及びクラスター分析により化粧の種類と印象の関係を検討した。

その結果、女子学生の化粧導入時期の若年化に加えて化粧意識の高さや化粧行動も積極的であることと、顔の悩み部位は「鼻」が多いにも関わらず、所持している化粧アイテムは「マスカラ」が最も多く、メイク方法では「目」を重視していることが明らかになった。

また、4種類3段階の化粧による印象評価では、第1因子の化粧の度合い（薄い—厚い）、第2因子の化粧の色味（冷たい—暖かい）、第3因子の化粧の印象（くどい—あっさり）の3つの因子が抽出された。この因子の組み合わせとクラスター分析によるグループ分けを合わせると、女子学生に好まれる化粧は、「素顔に近すぎず」、かといって派手ではなく、種類としては「女性らしく可愛いナチュラルなイメージ」の化粧の第1段階であった。印象評定の刺激には使用しなかったが同じ種類の第2段階が次いで好まれた。そして前述のように化粧における重要なポイントは目であるものの、派手で過剰なものは敬遠されやすいことが明らかとなった。これらから、現代では様々なメディアによって個性的な化粧のあり方が認められているように見えながら、化粧行動と意識においては思ったほどの多様性は好まれず、概ね同じような印象のものが選ばれていることも明らかとなった。

キーワード：女子学生、化粧、印象評価、SD法

---

\*大手前短期大学 非常勤講師      \*\*大手前大学

## 1. はじめに

昨今、日本国内では化粧への関心や意識をもつ女性が著しく高まり、特に若い女性では化粧開始年齢の若年化<sup>1)2)</sup>や審美意識の個性化が著しく、その方法も多様化している。また、高齢化などによりシニア層ではいつまでも若く美しく過ごすための、いわゆるアンチエイジング意識が一般的に高くなったことにより化粧年齢の幅が拡大している。

それにともない化粧品や化粧アイテムの種類が増加し、扱うメーカーや販売店などのビジネス業界も大きく発展している。

元来、個人の化粧に対する基本的意識の根底にあるものは、化粧の歴史から見てそれぞれの環境や文化の中で培われた審美性の追求と、個体的特徴や心理的な影響のほか、医学的見地からも個人差が大きく現れることが予想される。

また、同様に化粧はファッション意識や衣服とも関連が深いと考えられ、現在では自己表現におけるトータルコーディネートの一部として重要な要素になっていると思われる。

そこで、本研究では女子学生を対象にアンケート調査を行い、ライフスタイルとファッション行動における女子学生の化粧行動や意識の現状を確認するとともに、主な化粧方法の印象評価をSD法によって分析・考察することを目的とする。それらの関連と体系を明らかにすることで、今後の若者のファッション行動、化粧行動の意識が文化や生活環境因子に与える影響を検証できるのではないかと考える。

## 2. 調査方法

調査は女子学生を対象にした、アンケート用紙による集合調査である。アンケート用紙の質問は、A「学生の基本集計」「ライフスタイルと化粧行動と意識」、B「印象評価」およびC「複数の日常場面における化粧イメージ」から構成される。(添付資料)

### 2-1 ライフスタイルと化粧行動

女子学生のライフスタイルの中で化粧に関連していると思われる習慣性を測る質問を設定した。化粧行動に関しては、身体的・心理的な側面から行動パターンについて質問した。また化粧の違いについては同一のモデルに対して印象の異なる化粧を4種類各3段階で行いそれを撮影しこれにノーメイクの画像を加え計13枚を用意した(図1-1)。この13枚すべてを用いて、いくつかの生活場面においてどの化粧を好むかを尋ねた。

## 2-2 印象評価

化粧した顔のイメージを測るために、13枚（13種類）の中から、4種類それぞれに対して化粧の3段階のうち1段階と3段階を取り出し、これに素顔の1枚と加えた計9枚を刺激として用い、26対の形容詞によるSD法による印象評定を行った。因子分析により3つの因子を抽出し因子得点を算出した。さらに因子得点によるクラスター分析を行い、化粧の種類と印象との関係を検討した。

## 2-3 調査の実施

調査時期	2013年10月
調査場所	各大学の教室
調査対象	女子学生 386名 A大学 B大学 C大学 D専門校 有効サンプル数は382件 欠損値はSD法のみ99件
調査方法	集合による配表調査

## 2-4 集計及び分析

「学生の基本集計」「ライフスタイル及び化粧行動と意識」は質問ごとに単純集計とクロス集計を行った。集計及び分析はマイクロソフトエクセルを使用した。

また、「SD法を用いた印象評価」についてはSPSSver20を使用し、因子分析とクラスター分析を行った。

## 2-5 化粧画像について

本調査のためにまず、素顔（メーキャップなし）と4種類の化粧をさらに化粧の濃さで3段階に分類した①から⑬までの写真を用意した（図1-1、1-2）。写真①、写真⑤、写真⑨、写真⑬は素顔の同一写真であるが、質問紙では各段階の前にそれぞれ素顔の画像を配置したためこのようになっている。素顔を除いて全ての化粧にはベースメイク（ファンデーション、おしろい）、アイブロー、アイシャドー、チークカラー、リップカラー、マスカラを使用したフルメーキャップを施している。なお化粧の濃さの程度は、アイカラーとチークの色の濃さや化粧の仕上がりの質感の違い、アイブローの濃さやアイラインを描く範囲の違い、つけまつ毛の使用の有無による分類である。

それぞれの化粧の印象を端的に言うと、「華やかで大人っぽいアダルトイメージ」の分類に属する写真②の落ち着いた大人っぽいメイク、写真③のセクシーなメイク、写真④のゴージャスで厚いメイク、「スタイリッシュで洗練されたクールなイメージ」の分














素顔	 写真①、⑤、⑨、⑬		
	段階 1	段階 2	段階 3
華やかで大人っぽい アダルトイメージ	 写真②	 写真③	 写真④
スタイリッシュで 洗練されたクールな イメージ	 写真⑥	 写真⑦	 写真⑧
明るく活動的で ヘルシーなイメージ	 写真⑩	 写真⑪	 写真⑫
女性らしく可愛い ナチュラルな イメージ	 写真⑭	 写真⑮	 写真⑯

図 1 - 1 化粧のイメージ



女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

		眉			アイシャドー		アイライン		つけまつ毛 (毛量)	頬		口	写真	
		フォーム	長さ	強さ	色味	濃さ	範囲	太さ		色味	濃さ	色味		
華やかで大人っぽいアダルトイメージ	②	なだらかな アーチ	長め	中	パープル	薄い	目尻	細め	なし	ピンク系	薄い	明るいレッド		落ち着いた 大人っぽい メイク
	③	なだらかな アーチ	長め	中	パープル	中位	全体	細め	少	ピンク系	中位	濃いレッド		セクシーな メイク
	④	なだらかな アーチ	長め	中	パープル	濃い	全体	太め	多	ピンク系	濃い	濃いレッド		ゴージャスで 厚いメイク
スタイリッシュで洗練されたイメージ	⑥	直線的	長め	中	グレー	薄い	目尻	太め	なし	ベージュ系	薄い	ベールピンク		スタイリッシュな メイク
	⑦	直線的	長め	中	グレー	中位	全体	太め	なし	ベージュ系	薄い	ベールピンク		洗練された モードメイク
	⑧	直線的	長め	強	グレー	濃い	全体	太め	少	ベージュ系	薄い	ベールピンク		クールで インパクトのある メイク
明るく活動的でヘルシーなイメージ	⑩	直線的	短め	弱	オレンジ系	中位	なし	Ⅰ	なし	オレンジ系	薄い	淡いオレンジ		明るく清潔感の あるメイク
	⑪	直線的	短め	中	オレンジ系	中位	目尻	細め	なし	オレンジ系	薄い	淡いオレンジ		カジュアルで 活動的な メイク
	⑫	直線的	短め	中	オレンジ系	中位	目尻	太め	少	オレンジ系	薄い	淡いオレンジ		知的的で 凛とした メイク
女性らしく可愛いナチュラルなイメージ	⑭	曲線的	短め	弱	ピンク系	薄い	なし	Ⅰ	なし	ピンク系	中位	淡いピンク		シンブルな ナチュラルな メイク
	⑮	曲線的	短め	弱	ピンク系	中位	全体	細め	少	ピンク系	中位	淡いピンク		スイートな ナチュラルな メイク
	⑯	曲線的	短め	中	ピンク系	濃い	全体	太め	多	ピンク系	濃い	淡いピンク		フェミニンな ナチュラルな メイク

図 1 - 2

類に属する写真⑥のスタイリッシュなメイク、写真⑦の洗練されたモードメイク、写真⑧のクールでインパクトのあるメイク、「明るく活動的でヘルシーなイメージ」な分類に属する写真⑩の明るく清潔感のあるメイク、写真⑪のカジュアルで活動的なメイク、写真⑫の知性的で凛としたメイク、「女性らしく可愛いナチュラルなイメージ」の分類に属する写真⑭のシンプルなナチュラルメイク、写真⑮のスイートなナチュラルメイク、写真⑯のフェミニンなナチュラルメイクであると言える。なおそれぞれの写真は、顔立ち、ヘアスタイルや表情の違いによって印象の変化に影響がないように、同一のモデルを起用し同じヘアスタイルとし、一定の表情で撮影した。

### 3. 結果及び考察

#### 3-1 基本集計

調査対象者の基本集計を表1～2に示す。年齢と所属大学以外に各質問を専門分野嗜好とクロス集計して分析するため、専門分野を「主に学んでいる専攻分野」で質問し、「ファッション・アート系」「建築・インテリア・福祉系」「食文化・製菓系」「情報・ビジネス・コミュニケーション系」「その他」の5分類とした。なお、「その他は」項目に専攻分野を設定していない学生が該当している。

年齢は表1の通り19歳47.0%、18歳29.4%、20歳16.5%、21歳以上で7.1%となっている。また、本研究の調査対象者を学校別に見ると、表2のようにA大学39.9%、B大学36.4%、C大学15.7%、D専門校8.0%、また、主に学んでいる専攻分野としては「食文化・製菓系」が8.5%、ファッション・アート・デザイン系24.2%、情報ビジネスコミュニケーション系18.1%、建築・インテリア・福祉系0.5%、その他は内訳を表3に示し48.7%のうち35.9%が食物科学・栄養学分野となっている。

ライフスタイルについての集計を表4～5に示す。質問「あなたは流行をどのように取り入れますか」は、表4に示すように「流行は普通に取り入れる」の67.5%が最も多く、「流行には無関心」20.2%、「流行は遅れて取り入れる」7.3%、「流行はすぐに取り入れる」5.0%の順となっている。

「あなたは自由に使えるお金のうち主に使うものはどれですか」(複数回答可)の質問では表5の通り1位「ファッション」287名、2位「遊び」247名、3位「飲食」224名で「化粧品」は4位の115名となっている。このことから、女子学生の主な支出は大きく分けて「身の回り品」と「交際費」に使われている様子がうかがわれる。

以上のことから、今回の調査対象となった学生については、「流行を取り入れながら、支出はファッションと交際費に充てている」というライフスタイルが多いと言える。

女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

表 1 年齢

年齢	18 歳	19 歳	20歳	21歳	22歳	23歳以上	合計
度数（人）	112	179	63	6	3	18	381
%	29.4%	47.0%	16.5%	1.6%	0.8%	4.7%	100.0%

表 2 学校×専攻分野

学校		A	B	C	D	合計
専攻分野	度数（人）	58	0	3	30	91
	%	15.4%	0.0%	0.8%	8.0%	24.2%
ファッション・ アート&デザイン系	度数（人）	1	0	1	0	2
	%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.5%
建築・インテリア・福祉系	度数（人）	20	0	12	0	32
	%	5.3%	0.0%	3.2%	0.0%	8.5%
食文化・製菓系	度数（人）	57	0	11	0	68
	%	15.2%	0.0%	2.9%	0.0%	18.1%
情報・ビジネス実務・ コミュニケーション	度数（人）	14	137	32	0	183
	%	3.7%	36.4%	8.5%	0.0%	48.7%
その他	度数（人）	150	137	59	30	376
	%	39.9%	36.4%	15.7%	8.0%	100.0%
合計	度数（人）					
	%					

表 3 その他の専攻分野

専攻分野	度数(人)
食物科学・栄養学	135
生活全般(都市生活)	16
衣食住	7
ビューティー・メイク	6
ブライダル	2
その他	7
合計	173

表 4 流行の取り入れ方

流行の取り入れ方	①流行はすぐに取 り入れる	②流行は普通に取 り入れる	③流行を遅れて取 り入れる	④流行には無関心	合計
度数 (人)	19	257	28	77	381
%	5.0%	67.5%	7.3%	20.2%	100.0%

表 5 自由に使えるお金の使い方 (複数回答)

お金の使い方	①ファッ ション	②化粧 品	③音楽・ コンサー ト	④飲食 (自分)	⑤遊び	⑥通信 費	⑦書籍	⑧旅行	⑨その 他	合計
度数 (人)	287	116	95	225	247	30	53	73	17	1143
%	25.1%	10.1%	8.3%	19.7%	21.6%	2.6%	4.6%	6.4%	1.5%	100.0%

### 3-2 ライフスタイルおよび化粧行動の意識

化粧に対する行動の実態と意識を調べるため質問項目と結果を述べる。

「自分の顔のどの部分に悩みがありますか」(複数回答可)の質問では表6の通り「鼻」が最も多く200名、ほぼ同数で197名が「顔の輪郭」と答えている。次いで「目」が176名、「口」81名となっている。最も悩みの多い鼻と顔の輪郭は、元来人種に由来することから、女子学生は日本人特有の顔立ちに悩みをもち、欧米人種のもつ彫の深い顔立ちに憧れているのではないと思われる。このような悩みは一般的な化粧品などでは補正が難しいことから推測される。

「美容整形についてどう思いますか」では表7の通り「したくない」65.2%、と最も多く、次いで「するべきではない」が21.3%と、美容整形に対して否定的な意見が86.5%を占めて圧倒的に多数であった。「している」や「しようと思っている」など肯定的意見が13.5%であるが、この数字が高いか低いかは現在比較できないものの、近年韓国などでは美容整形を特別ではなく一般的なものとする考えが増加していると報じられている。国際ニュース：AFPBB News<sup>3)</sup>によれば、「韓国の美容整形への執着は、一般的な目と鼻の美容整形を超えて、数か月間の苦痛をとまなう回復を要する過激な外科手術の導入まで進んでいる。」(趣意)とあるが同じアジア圏の女性として、日本ではまだ抵抗感は強いということが明確となり、日本人特有の国民的規範意識が存在すると言えよう。

「あなたは日常お化粧をしますか」では表8の通り、「よくする」61.3%、「まあする」27.2%と「する」が全体の88.5%を占めており、「あまりしない」11.3%と「全くしない」が0.3%と僅かであり、化粧習慣は女子学生にとって日常的な行動となっていることが

女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

表 6 悩みのある顔の部位（複数回答）

悩みのある部位	①目	②眉	③口	④鼻	⑤顔の輪郭	⑥まつ毛	⑦その他	合計
度数(人)	176	65	81	200	197	39	32	790
%	22.3%	8.2%	10.3%	25.3%	24.9%	4.9%	4.1%	100.0%

表 7 美容整形

美容整形	①すでにしている	②しようと思っている	③したくない	④するべきではない	合計
度数(人)	5	46	246	80	377
%	1.3%	12.2%	65.3%	21.2%	100.0%

表 8 化粧をする頻度

頻度	①よくする	②まあする	③あまりしない	④全くしない	合計
度数(人)	234	104	43	1	382
%	61.3%	27.2%	11.3%	0.3%	100.0%

表 9

好きか	①とても好き	②どちらかという うと好き	③どちらかという と好きではない	④まったく好き ではない	合計
度数(人)	82	216	72	10	380
%	21.6%	56.8%	18.9%	2.6%	100.0%

表10 化粧を始めた年齢

開始年齢	①10 歳以下	②10～13 歳	③13～15 歳	④15～18 歳	⑤18 歳以上	合計
度数(人)	14	35	86	145	99	379
%	3.7%	9.2%	22.7%	38.3%	26.1%	100.0%

わかる。

また、「化粧をするのは好きですか」という質問では表9の通り「どちらかといえば好き」が56.8%、「とても好き」21.6%であり、女子学生の化粧行動は一般的に「好き」な行動と言える。「どちらかといえば好きではない」は18.9%、「まったく好きではない」は2.6%で「好きではない」は全体の21.5%であり、「化粧はあまり好きではない」が、とりあえず必要に迫られて「している」ケースも10%程度存在するようである。

「いつから化粧をしていますか」の化粧開始年齢に関する質問では表10の通り、「15

～18歳」が38.3%と高く、次の「18歳以上」では全体で26.1%となっているものの、学校格差が大きく「A大学」「C大学」「D専門校」では「13～15歳」で86名、反面「B大学」では「18歳以上」が68名となっており、2位と3位が入れ替わる結果となった。また、「10～13歳」や「10歳以下」でも49名が化粧を始めており、化粧開始の低年齢化が顕著となっている。島崎らの報告<sup>1)</sup>でも化粧開始年齢は「中学生」が45.0%、「高校生」が42.9%で、「小学生」でも12名がしていると答えており、「大学に入ってから」の17名とほぼ同数である。かつては小・中学校・高校などで生活指導が厳しく、家庭の中でも規範意識の教育や躾という観点から「化粧は社会人になってから」という意識があった。しかし、現在では教育機関や保護者からもそれらの意識は薄れ、ほとんどの学生が大学に入学するまでに化粧をする習慣を身につけているが、学んでいる専門分野の意識特性によって以前の意識格差が生じていることが明確となった。

現在の若者には化粧をするしないではなく、むしろ、マナーを守って正しい化粧をするように指導することが大切であろう。

「化粧をしないで外出するのは気になりますか」の結果は表10に、質問「誰と一緒にいるとお化粧しますか」(複数回答可)の結果は表11に示す。

表11によると「やや気になる」44.3%と「とても気になる」と答えたのが22.4%であるところから「気になる」学生は66.7%となっている。「あまり気にならない」と「全く気にならない」では7.4%と大きく差が出ている。また、化粧開始年齢が低いほど「気になる」と答えている傾向から、化粧習慣の期間が長いほど化粧に対しての興味度が高いように思われる。

「誰と一緒にいるときにお化粧しますか」(複数回答可)では表12の通り「友達・知人(女性)」が345名と最も多く、次いで「友達・知人(男性)」273名となっている。このことから女性に対してよりも、同性に対しての姿勢を強く意識していることがわかる。反面「家族」や「彼氏」など身近な存在の人に対しては「化粧しない」行動が多く見られ、「気を遣わない・気を許す」姿勢が強くなっているのは、「ありのままの自分」や「リラックスしたい」感情によるものと思われる。

「あなたが持っている化粧品は何ですか」(複数回答可)は表13の結果から、最も所持数の高い順に「チークカラー」356名、「ファンデーション」343名、「マスカラ」341名、「アイライナー」335名、「アイブロウ」305名、「アイカラー」300名、その他以下となっている。反面、「口紅」や「リップグロス」などのリップ系は少ない結果となっている。このことから顔色に影響するアイテムは必需品としていることと、ポイントメイクではアイメイクを重要視している傾向がある。

表14のメイクレベルから見ると「フルメイク」をしているのは270名で最も多く、次の「ポイントメイク」のみの92名とは大きく差がある。「ファンデーションのみ」では

女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

12名とごく少数となっている。前の質問の結果にもあったように、日常お化粧をすると答えた割合と同様の結果となっている。

「ポイントメイクの部位」（複数回答可）の質問では、表15の通り「目」83名と「眉」54名、「まつ毛」46名を合わせると全体の60%以上で「アイメイク」にポイントをおいていることがわかる。

表11 化粧をせずに外出することについて

	①とても気になる	②やや気になる	③どちらでもない	④あまり 気にならない	⑤まったく気にならない	合計
度数(人)	85	168	53	45	28	379
%	22.4%	44.3%	14.0%	11.9%	7.4%	100.0%

表12 誰と一緒にいるときに化粧をするか（複数回答）

	①家族	②友達・知人 (女性)	③友達・知人 (男性)	④仕事関係	⑤彼氏	合計
度数(人)	103	346	273	227	181	1130
%	9.1%	30.6%	24.2%	20.1%	16.0%	100.0%

表13 持っている化粧品（複数回答）

	①ファンデーション	②口紅	③アイカラー	④アイブロー	⑤チークカラー	⑥マスカラ	⑦リップグロス	⑧アイライナー	⑨その他	合計
度数(人)	349	254	303	306	356	341	292	338	37	2576
%	13.5%	9.9%	11.8%	11.9%	13.8%	13.2%	11.3%	13.1%	1.4%	100.0%

表14 メイクレベル

	①ポイントメイク	②フルメイク	③ファンデーションのみ	合計
度数(人)	92	270	12	374
%	24.6%	72.2%	3.2%	100.0%

表15 ポイントメイクの部位（複数回答）

	①眉	②目	③まつげ	④口	⑤頬	⑥鼻	合計
度数(人)	54	84	46	22	55	13	274
%	19.7%	30.7%	16.8%	8.0%	20.1%	4.7%	100.0%



「使用している化粧品」（複数回答可）の表16で最も多いのは「マスカラ」305名が最も多く、次いで大きく差はあるものの「アイプチ」90名、「アイラッシュ」79名となっている。反面「何も使わない」が40名となっている。ここでも「アイメイク」用の化粧品が多くを占めていることがわかる。「アイプチ」は一重まぶたを二重にするための接着剤で、日本人特有の目の形態を補正したい願望の現れであろう。

「顔の印象を決めるのはどこだと思いますか」の質問では、表17の示すように「目」217名で最も多く、次の「表情」54名とは大きく差が出ている。「口」や「鼻」はごく少数で印象にはほとんど影響がないと考えていることがわかる。

なお、「化粧をしない理由」を聞いた結果では、「面倒くさい」「肌トラブル」などが理由として挙げられたが、「素顔が良いと思っている」との回答もあった。今や女子学生は「素顔」にこだわることなく、「化粧」を当然のようにライフスタイルに取り入れている現状が明確となった。

以上のことから、女子学生の化粧意識が高く、化粧行動も積極的であることや、顔の悩み部位が「鼻」が多いにも関わらず、「メイク」では「目」を重視していることが明らかになった。

表16 使用している化粧品（複数回答）

	①マスカラ	②アイラッシュ	③まつげ エクステ	④アイプチ	⑤何も 使わない	⑥その他	合計
度数（人）	305	79	23	90	40	9	546
%	55.9%	14.5%	4.2%	16.5%	7.3%	1.6%	100.0%

表17 顔の印象を決める部位

	①眉	②目	③口	④頬	⑤鼻	⑥肌	⑦表情	⑧その他	合計
度数（人）	33	217	3	6	3	34	54	0	350
%	9.4%	62.0%	0.9%	1.7%	0.9%	9.7%	15.4%	0.0%	100.0%

### 3－3 SD法を用いた印象評価

SD法では、素顔の①及び4種類の化粧から第1段階と第3段階目を刺激として用いた。よって写真①②④⑥⑧⑩⑫⑭⑯の計9枚を刺激とした。また用いた形容詞対は26対で、内容は表18とした。これを5段階（非常に やや どちらでもない やや 非常に）で評定させ、左から1～5で得点化しこれに対して因子分析を行った。画像1枚につき382名のデータを分析対象としたが、欠損値のある場合はその対象者のデータは省いた。よって画像ごとの有効回答数は表19の通りとなった。

表18 形容詞対一覧

内容	内容
1 憂いを帯びた-晴れやかな	14 かよわい-勇ましい
2 暗い-明るい	15 浅い-深い
3 悲しい-うれしい	16 薄い-厚い
4 しみじみした-浮き浮きした	17 軽い-重い
5 淋しい-賑やかな	18 軽やかな-重々しい
6 生気のない-生き生きした	19 ユーモラスな-生真面目な
7 張りつめた-くつろいだ	20 乾いた-潤いのある
8 冷たい-暖かい	21 濁った-澄んだ
9 静的-動的	22 鈍い-鋭い
10 穏やかな-激しい	23 きらい-好き
11 のんびりした-せわしい	24 面白くない-面白い
12 やさしい-厳しい	25 くどい-あっさりした
13 柔らかい-堅い	26 素朴な-洗練された

表19 有効回答者数

写真	人数	写真	人数
①	346	⑩	348
②	342	⑫	347
④	335	⑭	347
⑥	338	⑯	340
⑦	337		

因子の推定に最尤法を用い、バリマックス回転を行った。初期の固有値が1以上の因子は4因子抽出されたが、回転後の因子寄与から寄与が1以上のものを採用し、3因子とした(表20)。因子1～3で累積寄与率は55.2%となり、3因子でメイクの印象の半分を説明できている。因子1は、やさしい-厳しい 柔らかい-堅い のんびりした-せわしい かよわい-勇ましい 軽い-重い 薄い-厚い 浅い-深い 穏やかな-激しい 軽やかな-重々しい 素朴な-洗練された 鈍い-鋭いに負荷が高く、化粧の度合いに関する薄さ厚さの印象であろうと推測された。因子2は、暗い-明るい しみじみした-浮き浮きした 悲しい-うれしい 生気のない-生き生きした 憂いを帯びた-晴れやかな 淋しい-賑やかな 静的-動的 冷たい-暖かい 面白くない-面白い およびユーモラスな-生真面目なであり、化粧の色味に関する冷たさ暖かさの印象であ

表20 因子分析結果

項目	因子 1	因子 2	因子 3	因子 4	共通性
やさしい-厳しい	0.854	-0.060	-0.167	-0.148	0.783
柔らかい-堅い	0.817	-0.123	-0.118	-0.102	0.707
のんびりした-せわしい	0.781	0.228	-0.232	-0.131	0.733
かよわい-勇ましい	0.764	0.064	-0.069	0.004	0.592
軽い-重い	0.762	0.070	-0.161	0.519	0.881
薄い-厚い	0.751	0.221	-0.206	0.295	0.742
浅い-深い	0.746	0.114	-0.092	0.171	0.607
穏やかな-激しい	0.722	0.317	-0.261	-0.107	0.701
軽やかな-重々しい	0.720	-0.036	-0.157	0.404	0.707
素朴な-洗練された	0.448	0.249	0.050	0.045	0.268
鈍い-鋭い	0.370	0.188	0.242	-0.029	0.232
暗い-明るい	0.082	0.867	0.152	0.024	0.782
しみじみした-浮き浮きした	0.173	0.865	0.100	0.005	0.789
悲しい-うれしい	0.053	0.854	0.217	0.017	0.780
生気のない-生き生きした	0.116	0.789	0.217	-0.013	0.684
憂いを帯びた-晴れやかな	0.111	0.743	0.095	0.035	0.575
淋しい-賑やかな	0.147	0.718	0.035	-0.001	0.538
静的-動的	0.337	0.660	-0.038	-0.033	0.552
冷たい-暖かい	-0.210	0.593	0.383	0.046	0.545
面白くない-面白い	0.152	0.345	0.301	0.023	0.233
ユーモラスな-生真面目な	0.085	-0.325	0.309	0.023	0.209
濁った-澄んだ	-0.218	0.158	0.679	-0.059	0.537
くどい-あっさりした	-0.401	-0.050	0.678	-0.130	0.639
きらい-好き	-0.215	0.203	0.674	-0.035	0.543
乾いた-潤いのある	-0.001	0.312	0.464	0.043	0.315
張りつめた-くつろいだ	-0.253	0.285	0.414	0.044	0.319
因子寄与	6.261	5.520	2.565	0.645	
寄与率%	24.080	21.232	9.865	2.480	
累積寄与率%	24.080	45.311	55.176	57.656	

と思われる。因子3は、濁った—澄んだ くどい—あっさりした きらい—好き 乾いた—潤いのある 張りつめた—くつろいだであり、化粧の印象に関するくどいあっさりの印象であると思われる。よって第1因子を化粧の度合い（薄い—厚い）、第2因子を化粧の色味（冷たい—暖かい）、第3因子を化粧の印象（くどい—あっさり）とした。写真ごとに因子得点の平均点を算出した。その結果が表21である。

表21 写真の因子得点平均値とメイクの特徴

番号	度合い	色味	印象	メイクの特徴
①	-0.9783	-0.45994	0.454899	ノーメイク : 全く化粧していない
②	0.059936	0.052764	-0.15247	落ち着いた大人っぽいメイク
④	0.799464	0.122666	-0.58428	ゴージャスで厚いメイク
⑥	-0.14725	-0.55475	0.242706	スタイリッシュなメイク
⑧	0.73692	-0.89116	-0.34233	洗練されたモードメイク
⑩	-0.81709	-0.15765	0.385603	明るく清潔感のメイク
⑫	0.359184	0.288535	0.062734	知性的で凜としたメイク
⑭	-0.28293	0.550961	0.011907	シンプルなナチュラルメイク
⑯	0.322028	1.033482	-0.1067	フェミニンなナチュラルメイク

さらに同じ因子得点を用いてクラスター分析（ユークリッド距離、ウォード法）を行い、写真のクラスタリングを試みた（図2）。因子得点によるプロット（図3～5）およびクラスター分析の結果から、9種類の写真は写真①⑩⑥、写真⑭⑫②⑯、写真⑧④に大きくまとめられることがわかった。写真①⑩⑥のまとまりは、メイクなしから目元を中心に全体にはあまり濃くないメイクである。9つのメイクパターンの中でもっとも薄くナチュラルな印象を与えるものであるが①⑩と⑥の間にはすこし距離があり、⑥は大きくはナチュラルであるが目元の印象から少し鋭い感じがするものと思われた。

一方写真⑧④は最後にクラスターが形成された組み合わせであるが、これは両方とも

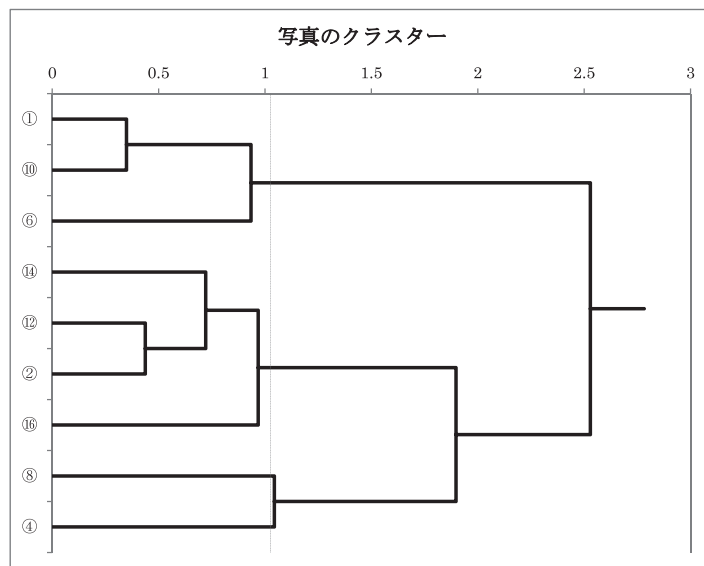


図2 写真のクラスター

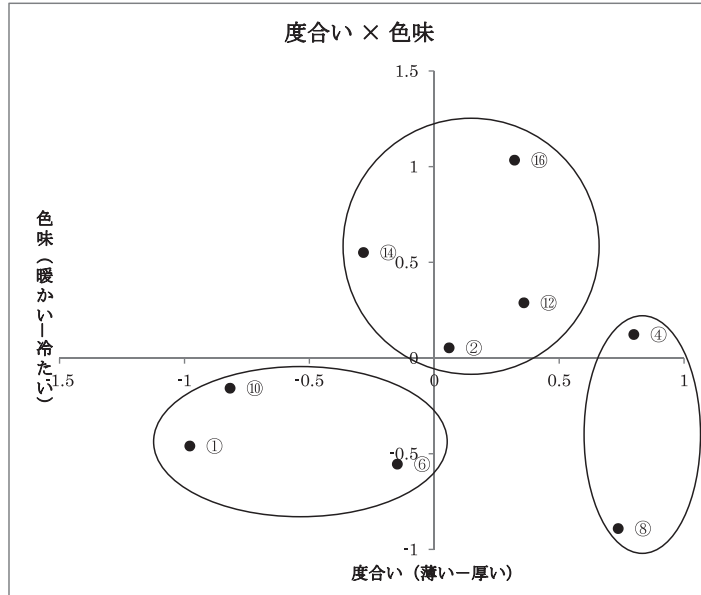


図3 度合い×色味による写真のプロット

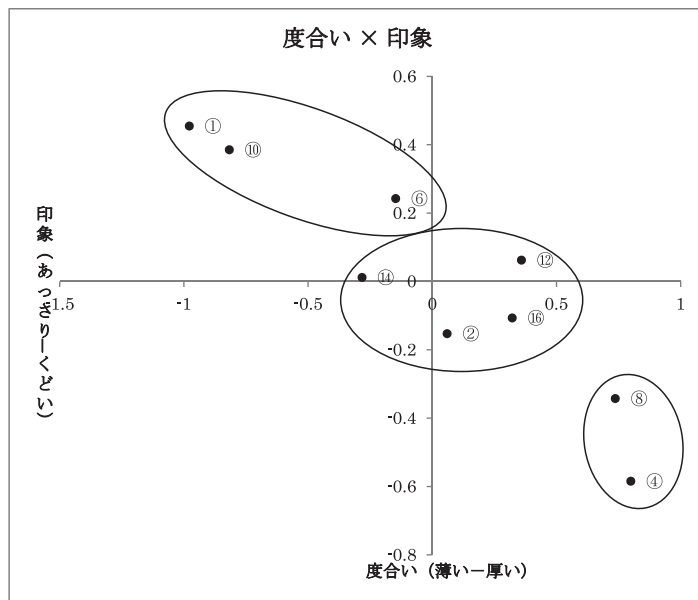


図4 度合い×印象による写真のプロット

派手なメイクであるが、④は口紅が赤、頬がピンク、アイシャドーが紫であり、一方⑧は口紅がピンク系、頬がベージュ、アイシャドーがグレーであり、またアイラインが強い④に比べ鋭い感じがするため、化粧の濃さだけではまとまらなかったものと思われる。濃い印象を与えるという意味では似ているが、同時に濃さの方向性が異なっ

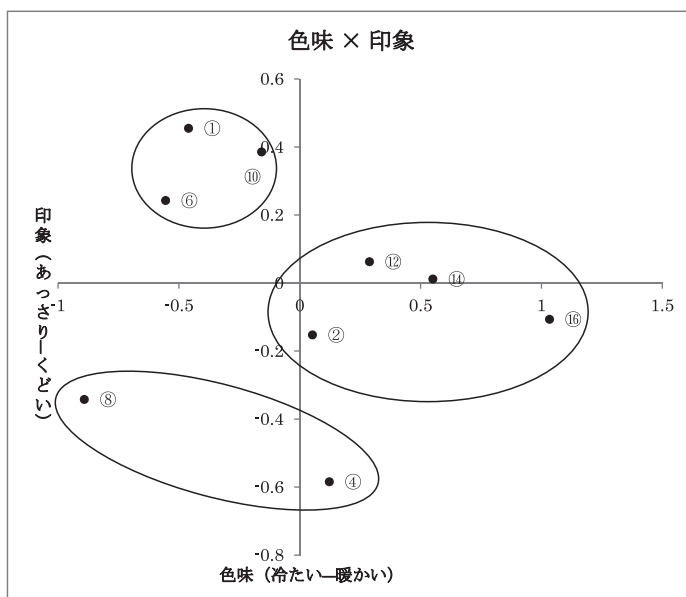


図5 色味×印象による写真のプロット

いると言える組み合わせである。

写真⑭⑫②⑯は、写真①⑩⑥、写真⑭⑫②⑯の中間の位置づけである。写真⑭は頬の色味が強調されている。⑫はアイシャードーによる目元の派手さと口紅の色味も比較的目標立ち、②は口紅の色が赤く、アイシャードーと頬の色味もやや目立つものである。目元口元および頬のいずれもが突出して濃いわけではないが、写真①⑩⑥に比べると濃く、④⑧と比べると薄いもしくは柔らかい感じになっている。

クラスター分析の結果ともっともよく符合しているのは、度合いと印象で写真をプロットした図5である。度合い因子得点が低いすなわち化粧が薄く、印象があつさりしているのがノーメイクの写真①であり、次いで両因子の得点がやや0に近づくのが⑩である。反対側には⑧と④があり、これらは化粧が厚くまたくどい印象のものである。⑥⑭⑫⑯はいずれの得点においても0に近いところにプロットされた。

これらの結果から、化粧の段階が同じ1でも、その種類ごとに印象は異なることが明らかとなった。素颜にもっとも近いのは、明るく活動的でヘルシーなイメージの段階1の⑩であり、同じ明るく活動的でヘルシーなイメージの段階3の⑫と華やかで大人っぽいアダルトイメージの段階1の②がイメージが近かった。その二つのイメージは次に女性らしく可愛いナチュラルなイメージの段階1の⑭と近いイメージとなった。また同じ段階3であっても、華やかで大人っぽいイメージ④はスタイリッシュで洗練されたクールなイメージの段階3の⑧とは最後でまとまった。化粧の種類によって同じ程度の化粧品を用いても、与える印象は異なるということが明らかとなった。

### 3-4 複数の日常場面における化粧イメージについて

質問では女子学生が日常している化粧イメージの実態を明らかにするため、①から⑯までの写真の中から「仕事・学校」・「恋人と出かける」・「友人と出かける」・「ショッピング」・「パーティ」・「家でくつろぐ」場合の6種類の場面ごとに日常する化粧にもっとも近いと思うものを尋ねた。

写真の中から学生が選んだ各場面において、日常する化粧に最も近いメイクは表22の通りである。全場面の中で最も回答数が多かったのは「家でくつろぐ」場合の化粧で調査対象者の95.9%が素顔と回答している。外出時に化粧をせずに出かけることに抵抗がある反面、ほとんどの学生は家では素顔で過ごしていることが明らかとなった。その他の場合については、写真⑭・⑮・⑯の「女性らしく可愛いナチュラルなイメージ」の化粧をしている回答数が多く、「恋人と出かける」場合が63.3%、次いで「パーティ」の場合の60.7%、「友人と出かける」場合が59.8%、「ショッピング」の場合が57.3%、そして「仕事・学校」の場合が47.2%という結果であった。次に回答数が多かった化粧は「明るく活動的でヘルシーなイメージ」が平均15.9%、続いて「スタイリッシュで洗練されたクールなイメージ」が平均9.6%、そして「華やかで大人っぽいアダルトイメージ」が平均3.3%であった。以上のことから、学生は日常的に「女性らしく可愛いナチュラルなイメージ」の化粧を好んでしていることがうかがえる。

さらに各場合において「女性らしく可愛いナチュラルなイメージ」の化粧をすると回答した学生について考察すると「仕事・学校」の場合にしている化粧は写真⑮が12.7%、写真⑯が4.1%であるのに対して、写真⑭と回答したのは110名で調査対象の30.4%であ

表22 日常する化粧にもっとも近いと思うもの

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	合計
仕事・学校	度数	59	9	0	1	48	3	2	34	15	20	110	46	15	362		
	%	16.3%	2.5%	0.0%	0.3%	13.3%	0.8%	0.6%	9.4%	4.1%	5.5%	30.4%	12.7%	4.1%	100.0%		
恋人と出かける	度数	25	8	1	1	23	1	2	37	10	23	94	97	35	357		
	%	7.0%	2.2%	0.3%	0.3%	6.4%	0.3%	0.6%	10.4%	2.8%	6.4%	26.3%	27.2%	9.8%	100.0%		
友人と出かける	度数	25	6	0	1	31	3	7	34	17	21	89	87	40	361		
	%	6.9%	1.7%	0.0%	0.3%	8.6%	0.8%	1.9%	9.4%	4.7%	5.8%	24.7%	24.1%	11.1%	100.0%		
ショッピング	度数	26	6	2	2	32	5	7	37	15	22	87	90	30	361		
	%	7.2%	1.7%	0.6%	0.6%	8.9%	1.4%	1.9%	10.2%	4.2%	6.1%	24.1%	24.9%	8.3%	100.0%		
パーティ	度数	13	8	6	20	20	7	12	18	16	21	50	67	101	359		
	%	3.6%	2.2%	1.7%	5.6%	5.6%	1.9%	3.3%	5.0%	4.5%	5.8%	13.9%	18.7%	28.1%	100.0%		
家でくつろぐ	度数	347	1	0	0	4	0	0	2	1	1	3	3	0	362		
	%	95.9%	0.3%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.3%	0.3%	0.8%	0.8%	0.0%	100.0%		



る。一方、「パーティ」の場合では写真⑭の13.9%、写真⑮の18.7%に比べ、写真⑯の回答数が101名と最も多く28.1%を占める。「恋人と出かける」、「友人と出かける」、「ショッピング」の場合は写真⑭と写真⑮の回答比率はいずれも約25%であり、写真⑯の化粧をしていると回答したのは10%前後であった。写真⑭・⑮・⑯の化粧は段階的に濃く厚く施したこと（図1-1、1-2）を考慮に入れると、勉強や仕事の場面においては控えめな化粧をしている学生が多く、恋人や友人と会う場合やショッピングの場面でもそれほど濃い化粧はしないと考えられる。しかしパーティのような華やかな機会となると化粧も厚く装うようである。写真⑭から⑯までの間には程度の差はあるにせよ、学生が日常的にしている化粧、つまり「女性らしく可愛いナチュラルなイメージ」の化粧とは3-3で明らかになったように化粧の程度は厚すぎず・薄すぎず、くどくもなく淡白でもない、暖かみのあるイメージの化粧のようである。

さらに3-2で考察した通り、日常化粧を積極的に行っている学生が多いことが明らかになったが、これらの学生と写真⑭・⑮・⑯の化粧との関係について分析した結果が表23と図6のグラフである。まず、日常において化粧をする頻度と各場面における関係は、仕事・学校の場合では化粧を日常「よくする」と回答した学生が234名中55名(23.5%)が写真⑭の化粧をすると回答しているが写真⑮は37名(15.8%)、写真⑯は11名(4.7%)である。「まあする」と回答した人では写真⑭、写真⑮と回答した人がそれぞれ28.8%、21.2%であるが⑯は8.7%と減少する。「あまりしない」回答者においては写真⑭と回答したのがもっとも多く43名中14名であった。恋人や友人と出かける場合やショッピングの場合については、化粧をする頻度に関わらず全体の結果と類似しているが、特に「よくする」回答者において恋人と出かける場合やショッピングの場合、写真⑭と写真⑮の回答数の差に開きが見られる。また、パーティの場合は74名が写真⑯の化粧をすると回答しており、パーティの場合に写真⑯と回答した学生全体の7割以上を占める。「よくする」人は「まあする」「あまりしない」人に比べ、パーティのような特別な場面ではより積極的に化粧をしていると考えられる。

化粧をすることについての好き嫌いの結果との関係においても、表23と図7のグラフで示すように回答の動きは全体の結果や化粧をする頻度の結果と類似しているが、友人と出かける場合において「とても好き」と回答した学生の集計結果は写真⑭が22.0%、写真⑮が18.3%、写真⑯が13.4%とよこばいである。化粧行為について「とても好き」と感じている学生が友人と出かける場合にしている化粧のタイプは薄めで控えめな化粧をする人から濃いめの化粧をする人までほぼ均等に分散しているのが特徴的である。また、「どちらかというとき好きでない」と感じている学生においても写真⑭と写真⑮の化粧をしている場合の回答比率は約25%~30%と高く、これらの学生においても日常において比較的積極的に化粧をしているように思われる。表23の通り「どちらかというとき好

きではない」が化粧を「よくする」学生は15名、「まあする」学生は36名であり合計すると全体の13.4%となる。

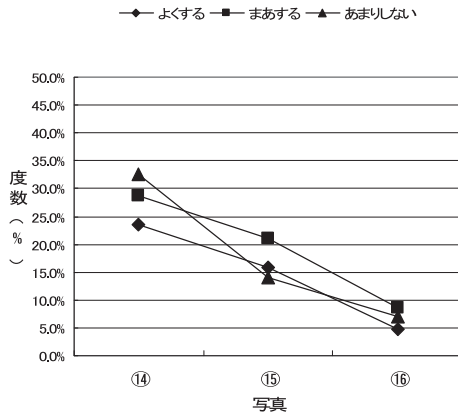


図 6-1 仕事・学校の場合

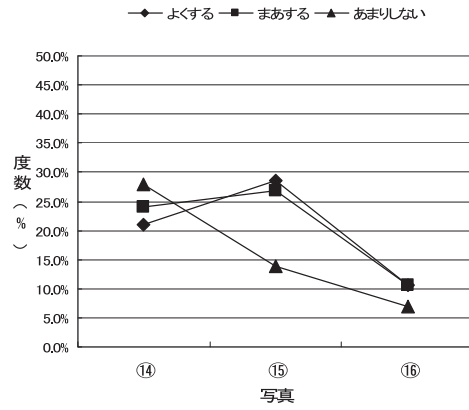


図 6-2 恋人と出かける場合

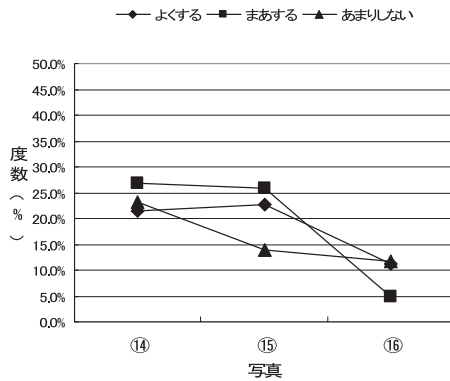


図 6-3 友人と出かける場合

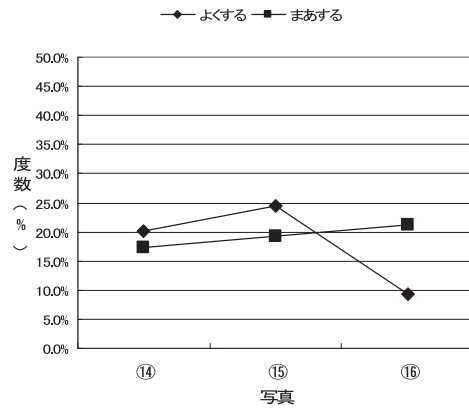


図 6-4 ショッピングの場合

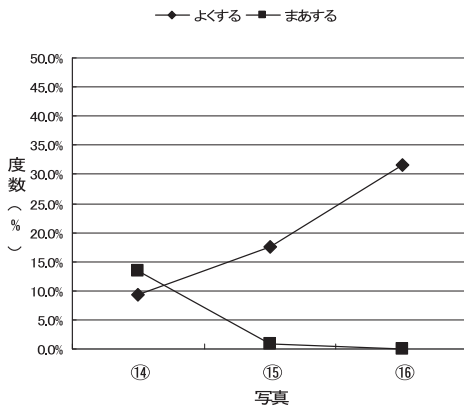


図 6-5 パーティの場合

女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

表23

化粧する頻度	有効回答数
よくする	234
まあする	104
あまりしない	43
全くしない	1
合計	382

場面×頻度			写真	⑭	⑮	⑯
仕事・学校	よくする	度数 %	55 23.5%	37 15.8%	11 4.7%	
	まあする	度数 %	30 28.8%	22 21.2%	9 8.7%	
	あまりしない	度数 %	14 32.6%	6 14.0%	3 7.0%	
	全くしない	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
恋人と出かける	よくする	度数 %	49 20.9%	67 28.6%	25 10.7%	
	まあする	度数 %	25 24.0%	28 26.9%	11 10.6%	
	あまりしない	度数 %	12 27.9%	6 14.0%	3 7.0%	
	全くしない	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
友人と出かける	よくする	度数 %	50 21.4%	53 22.6%	26 11.1%	
	まあする	度数 %	28 26.9%	27 26.0%	5 4.8%	
	あまりしない	度数 %	10 23.3%	6 14.0%	5 11.6%	
	全くしない	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ショッピング	よくする	度数 %	47 20.1%	57 24.4%	22 9.4%	
	まあする	度数 %	18 17.3%	20 19.2%	22 21.2%	
	あまりしない	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	全くしない	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
パーティ	よくする	度数 %	22 9.4%	41 17.5%	74 31.6%	
	まあする	度数 %	14 13.5%	1 1.0%	0 0.0%	
	あまりしない	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	全くしない	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
家でくつろぐ	よくする	度数 %	41 17.5%	8 3.4%	4 1.7%	
	まあする	度数 %	15 14.4%	8 7.7%	1 1.0%	
	あまりしない	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	全くしない	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

表24

化粧に対する好意度	有効回答数
とても好き	82
どちらかというと好き	216
どちらかというと好きではない	72
まったく好きではない	10
合計	380

場面×好意度		写真	⑭	⑮	⑯
仕事・学校	とても好き	度数 %	18 22.0%	19 23.2%	2 2.4%
	どちらかというと好き	度数 %	65 30.1%	17 7.9%	10 4.6%
	どちらかというと好きではない	度数 %	26 36.1%	9 12.5%	2 2.8%
	まったく好きではない	度数 %	1 10.0%	1 10.0%	1 10.0%
恋人と出かける	とても好き	度数 %	16 19.5%	21 25.6%	9 11.0%
	どちらかというと好き	度数 %	58 26.9%	53 24.5%	20 9.3%
	どちらかというと好きではない	度数 %	19 26.4%	19 26.4%	4 5.6%
	まったく好きではない	度数 %	1 10.0%	3 30.0%	2 20.0%
友人と出かける	とても好き	度数 %	18 22.0%	15 18.3%	11 13.4%
	どちらかというと好き	度数 %	50 23.1%	48 22.2%	21 9.7%
	どちらかというと好きではない	度数 %	20 27.8%	21 29.2%	6 8.3%
	まったく好きではない	度数 %	1 10.0%	3 30.0%	2 20.0%
ショッピング	とても好き	度数 %	15 18.3%	21 25.6%	8 9.8%
	どちらかというと好き	度数 %	53 24.5%	46 21.3%	18 8.3%
	どちらかというと好きではない	度数 %	18 25.0%	20 27.8%	3 4.2%
	まったく好きではない	度数 %	1 10.0%	3 30.0%	1 10.0%
パーティ	とても好き	度数 %	8 9.8%	12 14.6%	25 30.5%
	どちらかというと好き	度数 %	29 13.4%	39 18.1%	57 26.4%
	どちらかというと好きではない	度数 %	13 18.1%	15 20.8%	15 20.8%
	まったく好きではない	度数 %	0 0.0%	1 10.0%	4 40.0%
家でくつろぐ	とても好き	度数 %	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%
	どちらかというと好き	度数 %	1 0.5%	2 0.9%	0 0.0%
	どちらかというと好きではない	度数 %	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%
	まったく好きではない	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

◆— とても好き   ■— どちらかというと好き   ▲— どちらかというと好きではない   ◆— とても好き   ■— どちらかというと好き   ▲— どちらかというと好きではない

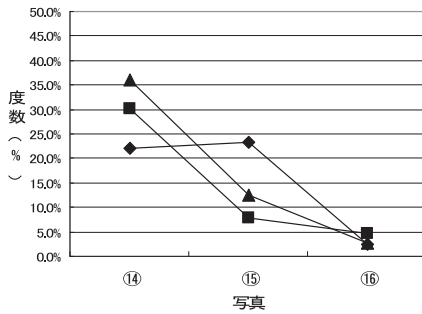


図 7-1 仕事・学校の場合

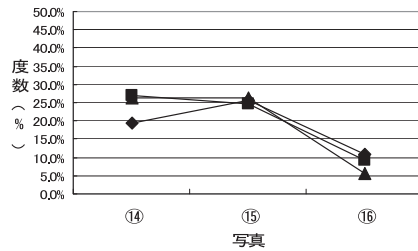


図 7-2 恋人と出かける場合

◆— とても好き   ■— どちらかというと好き   ▲— どちらかというと好きではない

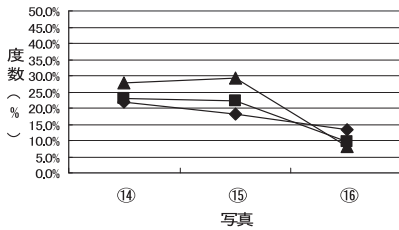


図 7-3 友人と出かける場合

◆— とても好き   ■— どちらかというと好き   ▲— どちらかというと好きではない

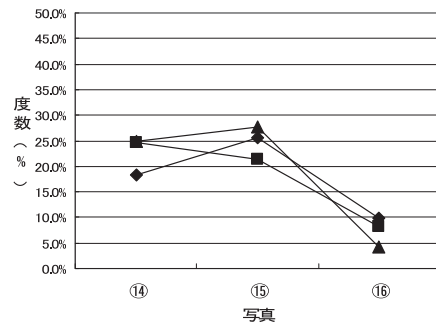


図 7-4 ショッピングの場合

◆— とても好き   ■— どちらかというと好き   ▲— どちらかというと好きではない

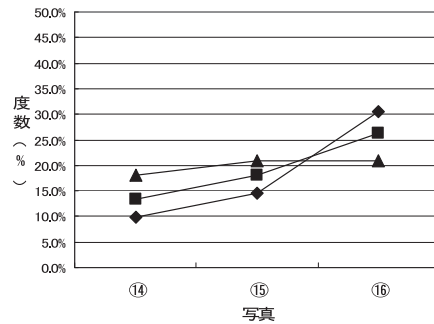


図 7-5 パーティの場合

表25 化粧頻度×化粧の好意度

頻度 \ 好意度		とても好き	どちらかというと好き	どちらかというと好きではない	まったく好きではない	合計
よくする	度数	73	142	15	3	233
	%	19.2%	37.4%	3.9%	0.8%	61.3%
まあする	度数	8	57	36	3	104
	%	2.1%	15.0%	9.5%	0.8%	27.4%
あまりしない	度数	1	17	21	4	43
	%	0.3%	4.5%	5.5%	1.1%	11.3%
合計	度数	82	216	72	10	380
	%	21.6%	56.8%	18.9%	2.6%	100.0%

以上のことから女子学生においては化粧行動や意識が違っていても、実際にしている化粧の傾向は同一線上にあることが推測される。これには「流行」という要因が挙げられるが、平坦な顔立ちの日本人ならではの要因もあるのではないかと考えられよう。今後の調査においてはコンプレックスと日常している化粧の関係についてその理由を深く分析していくことにより、身だしなみや美としての化粧行動にとどまらず、より積極的な行為として位置づけすることを課題とする。

#### 4. 日本における化粧の流行

人類の発生とその文化の発達にともない、私たち人類は化粧行動を行うようになってきた。その起源は紀元前10万年以上の太古に遡ると推測される。その時代の化粧行動の目的は身体保護、羞恥、呪術、装飾などであったが、現在のような「おしゃれ」や「自己表現」を目的とした化粧行動の原点は紀元前1万年以上前の古代エジプト時代にあるとされる。日本においては6世紀後半の飛鳥時代に、中国大陸から「紅」や「白粉」「香」といった化粧品が輸入されたことに始まると考えられる<sup>4)</sup>。

長い化粧行動の歴史を経て、近代の日本においては、戦後の復興と経済の著しい発展にともない、1950年代以降、化粧の習慣が急速に活性化するようになる。真っ赤な口紅がポイントの化粧の流行に始まり、1970年代のつけまつ毛の大流行、1980年代のバブル景気下においては女性の社会進出の機会が増加し、「強さ」や「たくましさ」を備えもつ女性像を表現するように眉は太く凛々しく描き、ダークな赤い口紅が流行する。また、空前のマスカラブームの到来もこの時期である。ボリューム感やロング感、セパレートタイプといった目元に華やかさを演出するものや、ウォータープルーフやフィルムタイプのように使用性の良い製品が発売されるようになる。その結果、目元の化粧（アイメ

イク)への関心が徐々に高まり、1990年代以降化粧方法の流行は目元を重視する傾向に変化するが、1980年代の強さとは違い、「セクシーさ」や「かわいらしさ」を表現する化粧方法が好まれるようになる。不景気にもなう意識の変化とも考えられるが、その背景には本調査結果でも明らかであるように、化粧行為開始年齢の低下、つまり低年齢層による化粧行為が化粧の流行に変化をもたらしたことにもあると推測される。

2000年以降も引き続きこの目元重視の化粧の流行は加速し、“目力”や“デカ目”というような表現が多用され再びつけまつげが脚光を浴びる。つけまつ毛を用い目元を“より大きく”、“より魅力的に”仕上げる目元重視の化粧である。しかしここ数年そのトレンドに変化が現れている。市場においても「もりすぎまつげはもう卒業」という商品キャッチコピーで、つけまつ毛の使用に替え、マスカラで今までの数倍以上のボリューム感を出す商品も登場している。これからは自分の顔に自信をもつためのポジティブな意識として、化粧行動を行う時代に移り変わり始めている兆しであろうか。<sup>6)</sup>

本調査結果からも女子学生はライフスタイルの様々な場面に応じて、本来自分のもつ魅力を最大限に表現できる方法を選択しながら「女性らしく可愛いナチュラルなイメージ」の化粧、すなわち厚く重く塗りがさねることは好まず、濃くくどい印象を与える色味は避け、薄すぎない程良いニュートラルなイメージに仕上げる化粧に対する嗜好が強いことが感じられた。

## 5. おわりに

女子学生を対象にしたアンケート調査を行い、ライフスタイルとしては、「ファッション」と「レジャー」にお金を使い、流行は「普通に取り入れ」ている様子が明らかになった。また、顔の悩みの部位を「鼻」「顔の輪郭」などにもちながらも美容整形には「否定的」であることも特徴であった。化粧意識からは「化粧することが好き」で「お化粧しないで外出することが気になり」特に女性の友達と行動する際には化粧を心掛けている。化粧行動においては、化粧開始の低年齢化が見られ、日常的に化粧習慣が身についている。具体的な化粧方法としてはフルメイクがほとんどでアイメイクにポイントを置いている傾向があることを確認した。

また、化粧品の所持率では「チーク」「ファンデーション」「マスカラ」「アイライナー」が必須4アイテムとなっている。特に、顔の印象を決める部位は「目」という結果から、マスカラの使用頻度の高さと関連するものと考えられる。

4種類3段階の化粧による印象評価では、第1因子の化粧の度合い（薄い—厚い）、第2因子の化粧の色味（冷たい—暖かい）、第3因子の化粧の印象（くどい—あっさり）が抽出され、これらの因子の組み合わせによって化粧の全体的な印象を位置づけること



ができた。クラスター分析によるグループ分けと合わせると、好まれる化粧は素顔に近すぎず、かといって派手ではなく、種類としては女性らしく可愛いナチュラルなイメージの化粧の第1段階であった。印象評定の刺激には使用しなかったが同じ種類の第2段階が次いで好まれた。同種類の第3段階は、やはり派手な印象が増すようであり、種類は同じでも好まれ方は前者と比べると低いものであった。よって、化粧における重要なポイントは目であるが、過剰なものは敬遠されやすいことが明らかとなった。しかしこれはその時代全体で好まれる化粧のあり方とも関連しており、化粧に対する好みや経験による違いはあまり見られず概ね同じような印象のものが選ばれていることも明らかとなった。

以上のように、現代では様々なメディアによって個性的な化粧のあり方が認められているように見えながら、化粧行動と意識においては思ったほどの多様性は見られなかった。ただしこの調査では18歳から20歳という特定の年代のみを対象としているため、世代ごとの意識や行動の違いについて検討することはできなかった。例えば加齢にともなう身体的変化に合わせて、化粧を変えることは十分あり得ることである。しかしこのような点を含めた大規模な調査は複雑化なものとなり安易ではないと思われる。したがって、より包括的に化粧意識や化粧行動をとらえる質問項目を検討することは今後の重要課題である。包括的な化粧行動把握のための質問紙をより妥当なものとしつつ、化粧方法や重点を置く部位は年齢によって変化していく可能性があることを根等に、調査対象を高齢者女性にまで拡げ、世代間の特徴や傾向を明らかにしていきたい。

#### 謝辞

アンケートにご協力いただきました各大学、短期大学、専門学校の学生の皆様に感謝の意を表します。

#### 引用・参考文献

- 1) 島崎千江子、吉野鈴子：女子学生のファッション導入行動とライフスタイルの関連について、大手前短期大学：研究収録第31号、(2012.3)
- 2) 教育活動調査研究委員会の報告書（平成20年度「子どもと規範意識」調査研究報告書、八千代市教育センター）
- 3) AFPBB News、<http://www.afpbb.com/articles/-/2946510?pid=10810632>、(2013.12)
- 4) 倉持喜久子「化粧の歴史」 資生堂ビューティーサイエンス研究所 『化粧心理学 化粧と心のサイエンス』 ©フレグランスジャーナル社、(1993)、297-299頁
- 5) ポーラ化粧文化情報センターやさしい化粧文化史、  
<http://www.po-holdings.co.jp/csr/culture/bunken/muh/01.html>、(2013.10)
- 6) ファッションラボ 2013-2014年秋冬号 通巻14

女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

添付資料

(A) 以下の質問について、もっとも当てはまるものに○をつけてください。

( 回答は1つだけ選ぶものと複数を選ぶものがあります )

Q1 年齢 (あてはまるものを1つだけ○をつけてください)

- ① 18歳 ② 19歳 ③ 20歳 ④ 21歳 ⑤ 22歳 ⑥ 23歳以上

Q2 主に学んでいる専攻分野 (あてはまるものを1つだけ○をつけてください)

- ① ファッション・アート&デザイン系 ② 建築・インテリア・福祉系 ③ 食文化・製菓系  
④ 情報・ビジネス実務・コミュニケーション ⑤ その他 ( )

Q3 あなたは自分の顔のどの部位に悩みがありますか? (最も気になる部位3つに○をつけてください)

- ① 目 ② 眉 ③ 口 ④ 鼻 ⑤ 顔の輪郭 ⑥ まつ毛 ⑦ その他 ( )

Q4 あなたは流行をどのように取り入れますか? (あてはまるものを1つだけ○をつけてください)

- ① 流行はすぐに取り入れる ② 流行は普通に取り入れる ③ 流行を遅れて取り入れる ④ 流行には無関心

Q5 あなたは美容整形についてどう思いますか?

- ① すでにしている ② しようと思っている ③ したくない ④ するべきではない

Q6 あなたは自由に使えるお金のうち、主に使うものはどれですか? (複数○可)

- ① ファッション (洋服・アクセサリー・バッグ・くつなどを含む) ② 化粧品 ③ 音楽・コンサート  
④ 飲食 (自分) ⑤ 遊び (交際費) ⑥ 通信費 (電話、PC 通信機器など) ⑦ 書籍  
⑧ 旅行 ⑨ その他 ( )

Q7 あなたは日常お化粧をしますか (あてはまるものを1つだけ○をつけてください)

- ① よくする ② まあする ③ あまりしない ④ 全くしない

↓  
Q8~Q16の質問に答えてください

↓  
Q17の質問に答えてください

Q8 化粧をするのは好きですか? (あてはまるものを1つだけ○をつけてください)

- ① とても好き ② どちらかという好き ③ どちらかという好きではない ④ まったく好きではない

Q9 いつからお化粧をしていますか (あてはまるものを1つだけ○をつけてください)

- ① 10歳以下10~13歳 ② 10~13歳 ③ 13~15歳 ④ 15~18歳 ⑤ 18歳以上

Q10 お化粧をしないで外出するのは気になりますか? (あてはまるものを1つだけ○をつけてください)

- ① とても気になる ② やや気になる ③ どちらでもない ④ あまり気にならない ⑤ まったく気にならない

Q11 誰と一緒にいるときに化粧しますか? (複数○可)

- ① 家族 ② 友達・知人 (女性) ③ 友達・知人 (男性) ④ 仕事関係 ⑤ 彼氏

Q12 あなたが持っている化粧品は何ですか? (複数○可)

- ① ファンデーション ② 口紅 ③ アイカラー ④ アイブロー ⑤ チークカラー ⑥ マスカラ  
⑦ リップグロス ⑧ アイライナー ⑨ その他 ( ) ( )

Q13 あなたのお化粧は (あてはまるものを1つだけ○をつけてください)

- ① ポイントメイク ② フルメイク ③ ファンデーションのみ



Q14 「ポイントメイク」と答えた方に質問です。どのポイントをお化粧しますか? (複数○可)

- ① 眉 ② 目 ③ まつげ ④ 口 ⑤ 頬 ⑥ 鼻

Q15 つぎの中であなたが使用しているものはありますか? (複数○可)

- ① マスカラ ② アイラッシュ ③ まつげエクステ ④ アイプチ ⑤ 何も使わない  
⑥ その他 ( ) ( )

Q16 顔の印象を決めるのはどこだと思いますか?

あなたがもっとも重視するものを選んでください (あてはまるものを1つだけ○をつけてください)

- ① 眉 ② 目 ③ 口 ④ 頬 ⑤ 鼻 ⑥ 肌 ⑦ 表情  
⑧ その他 ( ) ( )

Q17 Q7で「全くない」と答えた方に質問です。お化粧しない理由は何ですか? (複数○可)

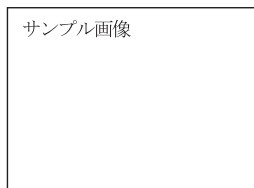
- ① 素顔が良いと思う ② 肌トラブルがある ③ 面倒くさい ④ その他 ( )

ここまで終了した人は、次の説明までお待ちください。

(B) 次のページでは、写真を見ていただいてその印象を答えていただきます。

あまり考え込まずに最初の印象でお答えください。以下の回答例のように当てはまるところ

に○をつけてください。



	非常に	やや	ちやうでもない	
1. 長い	+	+	+	+
2. 暗い	+	+	+	+

# 女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

この写真を見て、もっとも当てはまるところに○をつけてください。



	非常に	やや	どちらでもない	やや	非常に	
1. 憂いを帯びた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	晴れやかな
2. 暗い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	明るい
3. 悲しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	うれしい
4. しみじみした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	浮き浮きした
5. 淋しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	賑やかな
6. 生気のない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生き生きした
7. 張りつめた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	くつろいだ
8. 冷たい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	暖かい
9. 静的	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	動的
10. 穏やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	激しい
11. のんびりした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	せわしい
12. やさしい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厳しい
13. 柔らかい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	堅い
14. かよわい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	勇ましい
15. 浅い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	深い
16. 薄い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厚い
17. 軽い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重い
18. 軽やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重々しい
19. ユーモラスな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生真面目な
20. 乾いた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	潤いのある
21. 濁った	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	澄んだ
22. 鈍い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	鋭い
23. きらい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	好き
24. 面白くない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	面白い
25. くどい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	あっさりした
26. 素朴な	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	洗練された

この写真を見て、もっとも当てはまると思うところに○をつけてください。



	非常に	やや	どちらでもない	やや	非常に	
1. 憂いを帯びた	+	+	+	+	+	晴れやかな
2. 暗い	+	+	+	+	+	明るい
3. 悲しい	+	+	+	+	+	うれしい
4. しみじみした	+	+	+	+	+	浮き浮きした
5. 淋しい	+	+	+	+	+	賑やかな
6. 生気のない	+	+	+	+	+	生き生きした
7. 張りつめた	+	+	+	+	+	くつろいだ
8. 冷たい	+	+	+	+	+	暖かい
9. 静的	+	+	+	+	+	動的
10. 穏やかな	+	+	+	+	+	激しい
11. のんびりした	+	+	+	+	+	せわしい
12. やさしい	+	+	+	+	+	厳しい
13. 柔らかい	+	+	+	+	+	堅い
14. かawaii	+	+	+	+	+	勇ましい
15. 浅い	+	+	+	+	+	深い
16. 薄い	+	+	+	+	+	厚い
17. 軽い	+	+	+	+	+	重い
18. 軽やかな	+	+	+	+	+	重々しい
19. ユーモラスな	+	+	+	+	+	生真面目な
20. 乾いた	+	+	+	+	+	潤いのある
21. 濁った	+	+	+	+	+	澄んだ
22. 鈍い	+	+	+	+	+	鋭い
23. きらい	+	+	+	+	+	好き
24. 面白くない	+	+	+	+	+	面白い
25. くどい	+	+	+	+	+	あっさりした
26. 素朴な	+	+	+	+	+	洗練された

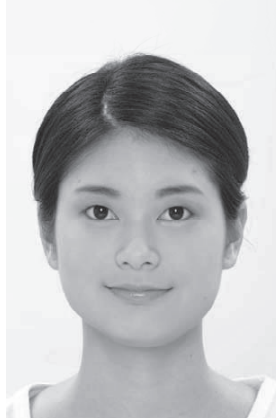
# 女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

この写真を見て、もっとも当てはまるところに○をつけてください。



	非常に	やや	さほど	やや	非常に	
1. 憂いを帯びた	+	+	+	+	+	晴れやかな
2. 暗い	+	+	+	+	+	明るい
3. 悲しい	+	+	+	+	+	うれしい
4. しみじみした	+	+	+	+	+	浮き浮きした
5. 淋しい	+	+	+	+	+	賑やかな
6. 生気のない	+	+	+	+	+	生き生きした
7. 張りつめた	+	+	+	+	+	くつろいだ
8. 冷たい	+	+	+	+	+	暖かい
9. 静的	+	+	+	+	+	動的
10. 穏やかな	+	+	+	+	+	激しい
11. のんびりした	+	+	+	+	+	せわしい
12. やさしい	+	+	+	+	+	厳しい
13. 柔らかな	+	+	+	+	+	堅い
14. かよい	+	+	+	+	+	勇ましい
15. 浅い	+	+	+	+	+	深い
16. 薄い	+	+	+	+	+	厚い
17. 軽い	+	+	+	+	+	重い
18. 軽やかな	+	+	+	+	+	重々しい
19. ユーモラスな	+	+	+	+	+	生真面目な
20. 乾いた	+	+	+	+	+	潤いのある
21. 濁った	+	+	+	+	+	澄んだ
22. 鈍い	+	+	+	+	+	鋭い
23. きらい	+	+	+	+	+	好き
24. 面白くない	+	+	+	+	+	面白い
25. くどい	+	+	+	+	+	あっさりした
26. 素朴な	+	+	+	+	+	洗練された

この写真を見て、もっとも当てはまると思うところに○をつけてください。



	非常に	やや	どちらでもない	やや	非常に	
1. 愛いを帯びた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	晴れやかな
2. 暗い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	明るい
3. 悲しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	うれしい
4. しみじみした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	浮き浮きした
5. 淋しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	賑やかな
6. 生気のない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生き生きした
7. 張りつめた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	くつろいだ
8. 冷たい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	暖かい
9. 静的	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	動的
10. 穏やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	激しい
11. のんびりした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	せわしい
12. やさしい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厳しい
13. 柔らかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	堅い
14. かよわい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	勇ましい
15. 浅い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	深い
16. 薄い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厚い
17. 軽い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重い
18. 軽やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重々しい
19. ユーモラスな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生真面目な
20. 乾いた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	潤いのある
21. 濁った	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	澄んだ
22. 鈍い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	鋭い
23. きらい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	好き
24. 面白くない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	面白い
25. くどい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	あっさりした
26. 素朴な	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	洗練された



# 女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

この写真を見て、もっとも当てはまるところに○をつけてください。



	非常に	やや	どちらでもない	やや	非常に	
1. 憂いを帯びた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	晴れやかな
2. 暗い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	明るい
3. 悲しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	うれしい
4. しみじみした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	浮き浮きした
5. 淋しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	賑やかな
6. 生気のない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生き生きした
7. 張りつめた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	くつろいだ
8. 冷たい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	暖かい
9. 静的	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	動的
10. 穏やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	激しい
11. のんびりした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	せわしい
12. やさしい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厳しい
13. 柔らかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	堅い
14. かよわい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	勇ましい
15. 浅い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	深い
16. 薄い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厚い
17. 軽い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重い
18. 軽やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重々しい
19. ユーモラスな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生真面目な
20. 乾いた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	潤いのある
21. 濁った	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	澄んだ
22. 鈍い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	鋭い
23. きらい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	好き
24. 面白くない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	面白い
25. くどい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	あつさりした
26. 素朴な	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	洗練された

この写真を見て、もっとも当てはまると思うところに○をつけてください。



	非常に	やや	どちらでもない	やや	非常に	
1. 愛いを帯びた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	晴れやかな
2. 暗い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	明るい
3. 悲しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	うれしい
4. しみじみした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	浮き浮きした
5. 淋しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	賑やかな
6. 生気のない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生き生きした
7. 張りつめた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	くつろいだ
8. 冷たい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	暖かい
9. 静的	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	動的
10. 穏やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	激しい
11. のんびりした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	せわしい
12. やさしい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厳しい
13. 柔らかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	堅い
14. かよわい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	勇ましい
15. 浅い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	深い
16. 薄い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厚い
17. 軽い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重い
18. 軽やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重々しい
19. ユーモラスな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生真面目な
20. 乾いた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	潤いのある
21. 濁った	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	澄んだ
22. 鈍い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	鋭い
23. きらい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	好き
24. 面白くない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	面白い
25. くどい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	あっさりした
26. 素朴な	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	洗練された

# 女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

この写真を見て、もっとも当てはまるところに○をつけてください。



	非常に	やや	どちらでもない	やや	非常に	
1. 憂いを帯びた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	晴れやかな
2. 暗い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	明るい
3. 悲しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	うれしい
4. しみじみした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	浮き浮きした
5. 淋しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	賑やかな
6. 生気のない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生き生きした
7. 張りつめた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	くつろいだ
8. 冷たい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	暖かい
9. 静的	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	動的
10. 穏やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	激しい
11. のんびりした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	せわしい
12. やさしい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厳しい
13. 柔らかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	堅い
14. かよわい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	勇ましい
15. 浅い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	深い
16. 薄い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厚い
17. 軽い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重い
18. 軽やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重々しい
19. ユーモラスな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生真面目な
20. 乾いた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	潤いのある
21. 濁った	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	澄んだ
22. 鈍い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	鋭い
23. きらい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	好き
24. 面白くない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	面白い
25. くどい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	あつさりした
26. 素朴な	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	洗練された

この写真を見て、もっとも当てはまると思うところに○をつけてください。



	非常に	やや	どちらでもない	やや	非常に	
1. 愛いを帯びた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	晴れやかな
2. 暗い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	明るい
3. 悲しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	うれしい
4. しみじみした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	浮き浮きした
5. 淋しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	賑やかな
6. 生気のない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生き生きした
7. 張りつめた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	くつろいだ
8. 冷たい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	暖かい
9. 静的	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	動的
10. 穏やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	激しい
11. のんびりした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	せわしい
12. やさしい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厳しい
13. 柔らかい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	堅い
14. かよわい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	勇ましい
15. 浅い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	深い
16. 薄い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厚い
17. 軽い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重い
18. 軽やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重々しい
19. ユーモラスな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生真面目な
20. 乾いた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	潤いのある
21. 濁った	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	澄んだ
22. 鈍い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	鋭い
23. きらい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	好き
24. 面白くない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	面白い
25. くどい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	あっさりした
26. 素朴な	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	洗練された

# 女子学生における化粧行動の意識及び印象評価の調査

この写真を見て、もっとも当てはまるところに○をつけてください。



	非常に	やや	と ち じ う な い	やや	非常に	
1. 憂いを帯びた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	晴れやかな
2. 暗い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	明るい
3. 悲しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	うれしい
4. しみじみした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	浮き浮きした
5. 淋しい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	賑やかな
6. 生気のない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生き生きした
7. 張りつめた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	くつろいだ
8. 冷たい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	暖かい
9. 静的	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	動的
10. 穏やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	激しい
11. のんびりした	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	せわしい
12. やさしい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厳しい
13. 柔らかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	堅い
14. かよわい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	勇ましい
15. 浅い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	深い
16. 薄い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	厚い
17. 軽い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重い
18. 軽やかな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	重々しい
19. ユーモラスな	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	生真面目な
20. 乾いた	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	潤いのある
21. 濁った	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	澄んだ
22. 鈍い	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	鋭い
23. きらい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	好き
24. 面白くない	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	面白い
25. くどい	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	あつさりした
26. 素朴な	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	+-----+	洗練された

(C) A)～F)の場面において、あなたが日常するお化粧にもっとも近いと思うものを写真①～⑯からそれぞれ一つ選んで( )に記入ください。(同じ番号を何度選んでもかまいません。)

- |            |     |           |     |
|------------|-----|-----------|-----|
| A) 仕事・学校   | ( ) | D) ショッピング | ( ) |
| B) 恋人と出かける | ( ) | E) パーティ   | ( ) |
| C) 友人と出かける | ( ) | F) 家でくつろぐ | ( ) |



ご協力ありがとうございました